

中部防災ニュース

平成29年
1月号

発行
静岡県中部危機管理局
電話 (054) 644-9104
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp



明けましておめでとうございます。

中部防災ニュースは、事業所の皆さまに、役立つ防災情報をお届けします。本年もよろしくお願いいたします。



防災活動に取り組む事業所を紹介します。

「お客様に必要とされ安心と信頼される仕事をします」を企業理念の一つに掲げ、BCM（事業継続マネジメント）に取り組んでいる株式会社焼津冷凍。地域の防災活動にも積極的に取り組み、昨年11月、静岡県自主防災活動知事褒賞を受賞しました。曾根克春相談役に取組の一端をお伺いしました。

株式会社 焼津冷凍

所在地：藤枝市上当間

設立：昭和50年10月

事業：冷凍倉庫業

野菜栽培及び販売

ベーカリー事業 等



地震・津波対策の心構えは、従業員と家族の安全を確保し、会社資源の保全を図り、その上で、顧客と地域社会への社会的責任を果たしていくことです。

地震・津波対策の重点

- 1) 人命尊重
- 2) 早期復旧による事業の継続
- 3) お客様、地域社会への貢献

(焼津冷凍 BCP 基本方針より)



相談役 曾根克春 様

○地域社会への貢献として、地域住民の避難・救援等に協力していくことを努力目標とされていますが、例えばどんなことをされているのですか？

「地域住民の避難場所として、工場の荷捌き場のスペースを用意するとともに、災害時に水や食糧、毛布などの生活物資を提供できるよう備蓄しています。また、駐車場などの空きスペースを災害復旧活動の用地として使用できるようにしました。

これについては、藤枝市との協定を結びました。(注：内容は下に記載)

今後は、地域住民と協働で防災訓練に取り組む予定です。」

○これらの活動を支えるためには、事業所が災害に強くなければなりません、BCPの策定のほかに、具体的にどんなことをされていますか？

「毎年7月に防災訓練を行っていますが、その一環として、BCPに対応した訓練や停電時における冷凍倉庫からの脱出訓練等を実施しています。また、非常用発電機も整備しており、商用電源から非常用電源への切替訓練も実施しています。」



今年のBCP訓練の様子

○従業員の防災教育が大切になってきますが、特別なことをされていますか？

「全従業員に救命技能を習得させるため、訓練の中で普通救命講習を行っています。また、従業員に食料備蓄を促すために、購入費の一部を助成しています。」



藤枝市と協定を締結しました (H27.9.30)

「災害時における一時避難・災害復旧活動への協力に関する協定」

- 1 地域住民のための一時的な避難場所の提供
- 2 食糧、水、生活用品の提供
- 3 災害復旧活動のための場所の提供





大地震後の

通電火災にご用心！

通電火災とは 大規模地震などに伴う停電が復旧し、通電が再開される際に起こる火災のことをいいます。

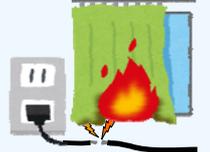
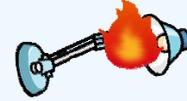


阪神・淡路大震災での火災

出火の原因 (一例)

電熱器具が転倒や落下により可燃物と接触状態になり、復旧時の通電で可燃物を加熱して発火。安全装置付きでも状況によっては安全装置が作動しないことがあります。

電気コードや屋内配線が地震の揺れで傷つき、復旧時にショートして火花が周囲に着火して発火。また、コンセント等に水が掛かり漏電して発火する事例もあります。



通電火災の怖さ

地震発生時ではなく、避難後、無人の部屋から時間差で出火するところが、この火災の一番の怖さです。初期消火が遅れるため、火災が拡大します。

通電火災を防ぐには

避難する前にブレーカーを落として電気を遮断することだけです。こうしておけば停電が復旧しても、通電せず通電火災は起こりません。

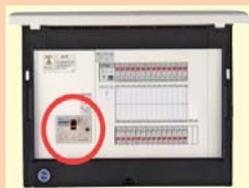


備えあれば憂いなし

地震直後は冷静にブレーカーを落とすことができないかもしれません。そんな時、自動でブレーカーを落としてくれるのが「感震ブレーカー」です。



分電盤タイプ (内蔵型)



センサーが地震を感知し、自動で電気を遮断します。(5~8万円程度)

簡易タイプ



揺れでバネや重りが落下すると、ブレーカーが落ちます。(数千円程度)

分電盤タイプ(後付け型)やコンセントタイプなどもあります。御自分のニーズに合うものを選びましょう。



感震ブレーカーの設置状況等によっては、各地の発表震度が設定作動震度より小さくても作動することがあります。その逆に、発表震度が設定作動震度より大きくても作動しないことも。

一部の市町には、設置の補助制度があります。



ブレーカーを戻すときは、室内の安全確認をして慎重に。焦げるような臭いがしたら、直ちにブレーカーを遮断し、もう一度室内の安全確認を。



防災出前講座の御案内

中部危機管理局では『防災出前講座』を行っています。自主防災会、事業所、学校などの防災訓練や研修の一環として、ぜひ御活用ください。

防災講座

防災講話

東海地震や南海トラフ地震など、いつ起きてもおかしくない巨大地震。台風などの風水害。その被害想定や防災対策について、わかりやすくお話しいたします。

地震体験車の派遣

震度7は激しく、想像以上に何もできなくなります。家庭や職場の防災を真剣に考えるきっかけに地震体験を。防災講話等と地震体験をセットで行うこともできます。



防災ゲーム

参加者が、防災について自ら考える機会をつくりたい。そんな時は、グループで楽しみながら防災意識を高めることができる防災ゲームを取り入れてみてはいかがでしょうか。

- HUG (避難所運営ゲーム)
- DIG (災害想像ゲーム)
- 災害時判断ゲーム など



お気軽に御相談ください。

土日、休日、夜間、少人数でも OK です。

電話 054-644-9104

メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp



地震防災に関する啓発用DVDの貸し出しも行っていきます。

